

表106 結核対策特別促進事業

厚生労働省通知に基づき、結核の罹患率や有病率の高い地域等で、地域の実情に応じ、効率的・効果的な結核予防対策を推進することを目的に、昭和62年度から重点的な対策事業として実施している。

事業名	内容
川崎市結核対策DOT推進事業 (川崎市)	野宿生活者、簡易宿泊所居住者等の治療困難者に対して効果的なDOTを実施し、治療中断・脱落を防止して特定地域（川崎市は全国平均と比較しても罹患率が高い）内の治療成功率・罹患率を改善する。 延対象者数（川崎市） 197人（22年末現在活動性93人 + 23年新規104人）
川崎市結核対策DOT推進事業 (川崎市全域)	結核患者に確実に抗結核薬を服用させることにより結核のまん延を防止するとともに、多剤耐性菌の出現防止を図る。 延対象者数（幸、中原、高津、宮前、多摩、麻生区） 363人（22年末現在活動性159人 + 23年新規204人）
治療成績評価事業	コホート検討会の開催により患者管理を徹底し、治療中断・脱落、治療失敗をなくすとともに多剤耐性菌の出現防止を図る。 開催回数 19回 （川崎市12回、川崎・中原・麻生区 3回、幸・宮前・高津・多摩区 4回） 評価対象患者数 116人 （肺結核喀痰塗抹陽性新登録患者数） 出席者 約100人
ハイリスク者集団健診	総数 828人 野宿生活者等検診 52人 簡易宿泊所入所者 223人 生活保護受給者 478人 外国人労働者等検診 75人

資料：健康安全室

表107 結核対策一般対策事業

事業名	内容
広報媒体による普及啓発	結核予防週間を中心に市内広報掲示板にポスターを掲示
結核研究所派遣研修	結核予防業務に従事する保健所職員を、公益財団法人結核予防会結核研究所に派遣し、最新の情報に基づく専門的実践的な知識及び技術の習得を図る。 医師 1人 臨床検査技師 2人 保健師 7人 事務職 3人
保健所職員職種別研修会	「結核感染診断試薬 インターフェロンガンマ遊離試験の原理と結果の考え方」 出席者： 35人 講師：(公財)結核予防会結核研究所 抗酸菌レファレンス部 部長 原田 登之 先生 「井田病院における結核診療について」 「換気のはなし」 対象：結核予防業務従事職員 出席者： 48人 講師：井田病院 呼吸器科部長 西尾和三医師 中原区役所保健福祉センター衛生課 山崎 勉 課長補佐

資料：健康安全室